

新型コロナウイルス感染症対策本部会合（第47回）

における橋本内閣府特命担当大臣発言

（11月21日（土） 於：官邸）

コロナ下で女性の生命と生活が脅かされています。

10月の女性の自殺者数は851人と前年から8割も増えました。DVや性暴力は増加・深刻化し、雇用・収入が失われて生活困窮に陥っているシングルマザーも多くいます。まさに「女性不況」とも言える状況です。緊急事態宣言下での休校・休園は、特に女性に大きな負の影響をもたらしました。

DV、性暴力、自殺等の相談体制は、感染拡大期においても可能な限り機能を果たす必要があります。休校・休園の判断においては、女性への影響に最大限配慮しなければなりません。ひとり親家庭への支援が大変重要です。

関係閣僚におかれては、資料にある有識者からの提言を参考にさせていただき、大変な思いをされている女性を誰一人取り残さないよう、御対応をよろしくお願いします。